

地区社協だより

明けましておめでとうございます
本年もよろしくお願ひいたします

西諫早小校区社会福祉協議会
会長 辻 良彦

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。西諫早小校区の皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

新型コロナウイルス感染症は、今も私達の生活環境に影響しておりますが、昨年は、4年ぶりに多くの皆様の「出席をいたたき」「ひとり暮らし高齢者」を開催することができ、楽しい時を過げることができました。

さて、近年は認知症高齢者や一人暮らし高齢者が増加しており、地域を取り巻く福祉の環境が大きく変化してきている状況の中において、地区協議では、「人と人のつながりと地域」でともに支え合い」を目指して事業を進めています。これからも「誰もが安心・安全に、自分らしく暮らせる地域づくり」の実現を目指してお互いに協力しながら推進していきたいと思ひます。今後とも、ご支援・ご協力を願い申し上げます。

第45号

発行日 令和6年1月15日
発行 西諫早小校区社会福祉協議会
発行責任者 鉄本 浩一郎
(電) 090-1515-6683



『ひとり暮らし高齢者の集い』に 参加して

中尾町 吉原 久雄



星の子保育園園児の和太鼓から颯爽と幕を開けた「ひとり暮らし高齢者の集い」。11月の日、西諫早公民館において開催され、120名を超える高齢者の方に参加していただいた。集いでは、会場内は最初から最後まで笑い、感動、驚きも加わって満席状態。合唱のアンコールで幕を下ろした。

私は今回はじめて、スタッフとして参加した。快く参加、喜んでいた高齢者のみなさんが精一杯演じていただいた出演者のみなさん、ありがとうございました。そして盛会に結びつけていただき、スタッフのみなさんお疲れ様でした。

来年もまた、楽しみましょう!!

た皆様、ありがとうございました。

「ひとり暮らし高齢者の集い」が4年ぶりに開催されました。後期高齢者になつたばかりの私は、「まだ参加しないでいいわ」と思つていましたが、いきにきサロンのお仲間に誘われて初めて参加することができました。

行ってみたら、星の子保育園の園児のはつらつとした和太鼓、本格的な踊りや合奏、歌、諫早男声合唱団の豊かな響きにすっかり心を奪われました。

出し物の素晴らしい回かいりい感動したのは、参加者の皆様の生き生きとしたお姿です。「こんなにたくさんのおひとり様、みんな頑張つておられるんだ。私も負けではない」と大いに元気を頂きました。後期高齢者になり沈みがちだった心に明るい光が差し込んでいたような気持ちになり、本当に参加してよかったです。

このような集いに参加できたのも「いわいきサロン」の方々が勧めて下さったおかげです。地域の方々と繋がりを持つことは大切だと改めて感じました。

家の外に出る事をためらつている方がおられたら、「どうぞ外に一步踏み出してください」とお声かけしたいです。

お世話をしていくぞつ



健全育成会だより 5年生農業体験



毎年毎年5年生は稲作りの体験を地域の方々にお世話いただき実施できています。

田植えは、素足でヌルヌルを感じ入った。最初は気持ち悪くても慣れてくると足運びもスムーズに列もきちんと植えることができました。

今年は、特別全国で猛暑続きの中、草取り、害虫駆除、水の世話など、たくさん仕事を、毎年地域

の方々にお世話いただいている。

6月に田植え、10月にノン鎌で稻刈り、脱穀機のしくみなどを教わしながらの脱穀、すべてが初めての体験。お世話してくださった方々に感謝です。

12月15日に農業体験を支援してくださいたの方々をはじめ、日頃学校を支援してくださる皆さまと一緒に収穫祭（もちつき大会）を楽しみました。

最後に、みんなでおもちを試食しました。つきたてのおもちに、きなこをせて食べました。すくもちもちしてつきたてのおもちは、おいしかったです。

もちつきができたのは、地いきの方が、手伝ってくれたおかげだと思いました。



もちつき

5年1組 中島 令智

おいしくなれ!!

山口はるか

私が題名に「おいしくなれ!!」といふものを付けた理由は、お米を育てた人、おもちつきを手伝ってくれた人、西小の5年生が、みんなそつそつおいしいおもちができるからです。

地域の方々は、田植えをした6月から、夏の暑い8月をこえ、10月まで、おいしいお米ができるように、しっかりと育ててくれて、りっぱな稻

ができる、感謝しています。

今日は、その大切に育てられたお米を、地域の方々に手伝っていただき、おいしいおもちをつくることができました。

一人一人の、お米への思いから、おいしいおもちがつくれたと思います。

田植えからもちつきまで

5年2組 船越 梨冴

私は、田植えからもちつきまでで、今まで知らなかつたことを気付きました。その中の2つをしようかします。

まずは、田植えです。田植えでは、いねを植えるときに、思つていつも、いねが真っすぐ立たなかつたことです。そこで、地域の方から「もう少し、深く植えるといいよ。」とアドバイスされ、その通りにやつてみると上手く植えることができ、うれしくなって、何回もやり

たい気持ちになりました。

2つ目は、もちつきです。きなが予想していたよりも重く、力強くつけなかつたことです。

地域の方は、もちが熱くても、さわれて、すゞいなと思いました。自分たちで作ったお米でご飯をたいたり、もちを作ったりしたら、家で食べるよりも、おいしかったです。

米作りのながれ

5年2組

小松 洋輝

ぼくは、5年生なので、米作りにちょうどせんしました。田植えは足がとられてたいへんだったけれど、「コツをつかんできて、うまく植えたのでよかったです。

次に、いねがりをしました。いねかりは、さいしょは木を組み立て、いねをほすところを作りました。次に今までいねをきつて、むすびました。そして何日かはしました。

最後に、だつこくをしました。だつこくは機械を使って、農家の人に手伝つてもらいました。ぼくはほんの少しの作業しかしていません。農家的人は、ぼくたちの畑に毎日来て米の様子をみたり水のちょうどせつをしていました。ぼくも農家さんのようにりっぱな大人になりたいと思いました。

この度は九州大会・全国大会に際しまして、皆様には多大なご支援とご協力をいただきまして、誠にありがとうございました。

九州大会では男子6位、女子8位、全国大会では、男子15位、女子31位と、全て昨年を上回る結果でした。

皆様の応援のお気持ちが私たちのエネルギーとなり、それぞれが精いっぱい力を発揮することができました。素晴らしい経験になりました。この経験を今後の人生に生かせるよう、これからも頑張っていきます。この度は、本当にありがとうございました。

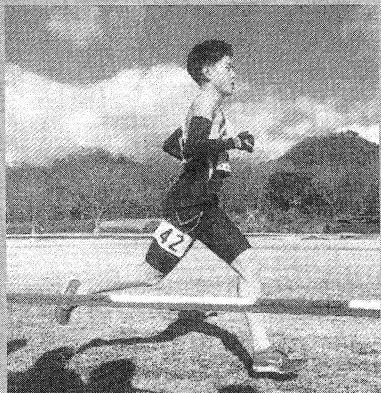
2023年12月

西諫早中学校 男女駅伝部一同

応援ありがとうございました。
皆さんのが応援してくださったおかげで、九州や全国で自分の力を発揮することができました。これからも頑張ります!

主将…百田好希・中道玲奈

全国中学校駅伝大会 四國四県女出場

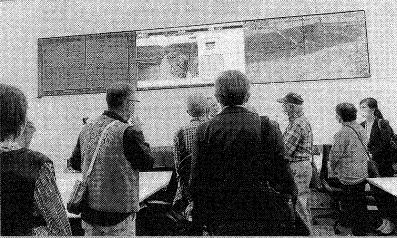
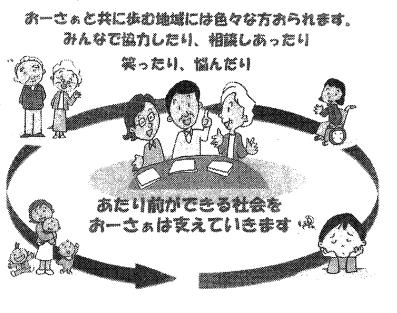


地区社協の研修旅行

筒井せつ子

令和5年10月27日、役員・福祉協力員視察研修が行われ、特定非営利活動法人「おーさあ」(熊本県健軍)と熊本県防災センターを見学しました。「おーさあ」では、子供が減り高齢者の介護の負担が増える今の社会でも発想を転換すれば、皆で仲よく助け合い生活できるということを目の当たりにしました。防災センターでは、VRの「ゴーグル」をつけて、災害時の街の様子を疑似体験しました。

とてもリアルで驚きました。はじめての研修旅行で、出発するなり雨、雷、ひょうまで降り、不安なスタートでしたが、参加することができるよかったです。



出席されている高齢者の方々は、在宅でいつもお会いする雰囲気とは違って、集いの場、地域の中での表情、様子など別の一面を拝見することができました。

舞台で披露された演技は、みなさん生き生きとされて素晴らしい、会場と一緒に盛り上がり、一緒に楽しませていただきました。

趣味や楽しみ、好きな事を続けながら、その活動で地域の方に元気を与えることは、お互いに励みになることを感じました。そして地域のつながりの大切さを改めて考える機会となりました。

ありがとうございました。

『ひとり暮らし高齢者の集い』に 参加して

北部地域包括支援センター 霧田 美代子

2024年の干支は「甲辰（きのえ・たつ）」です。
干支にはそれ意味があるようで、今年の「甲辰」

は、「春の日差しが、あまねく成長を助ける年」になり、春の日差しが大地すべてのものに降り注ぎ、急速な成長と変化を誘う年になるそうです。

今年の1年、健康で良い年になるよう皆で頑張りましょう。

広報部

編
集
後
記

謙早市
北部地域包括支援センター

謙早市山川町2-13
TEL 25-7030

高齢者のさまざま
相談に対応します。
ご気軽にご相談ください。